

令和 7 年度

川島桶川資源循環組合
一般会計歳入歳出
決算審査意見書

川島桶川資源循環組合監査委員

川桶組監第 9 号
令和 8 年 7 月 3 日

川島桶川資源循環組合
管理者 藤 間 隆 様

川島桶川資源循環組合監査委員 榎 本 幸 雄

川島桶川資源循環組合監査委員 菊 地 敏 昭

令和 7 年度川島桶川資源循環組合一般会計歳入歳出決算審査意見の提出について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された令和 7 年度川島桶川資源循環組合一般会計歳入歳出決算について審査したので、次のとおり意見を提出する。

令和 7 年度 川島桶川資源循環組合 一般会計歳入歳出決算審査

1 審査の対象

- (1) 令和 7 年度川島桶川資源循環組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 上記決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

2 審査の期間

令和 8 年 6 月 2 3 日

3 審査の方法

管理者から提出された令和 7 年度一般会計歳入歳出決算書及び同歳入歳出決算事項別明細書等の附属書類は、関係法令に従って適法に作成されているか、併せて決算計数は正確であるかどうか、また事務事業に係る予算については、適切な手続を経て適正かつ効率的に執行されているかなどを審査の主眼とした。

なお、審査に際しては、決算書、附属書類、関係諸帳簿及び提出された資料等の照査と関係職員からの説明を聴取するとともに例月出納検査、定例監査等の結果を参考とした。

4 審査の結果

- (1) 形式および計数の審査

審査に付された令和 7 年度一般会計歳入歳出決算書及び同歳入歳出決算事項別明細書等の附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、決算計数及び会計処理については、正確かつ適正に処理されていると認められた。

- (2) 予算執行の審査

各会計の歳入歳出予算の執行状況については、提出のあった決算及び関係資料を審査した結果、おおむね適切に執行されているものと認められた。

5 審査結果調書

(1) 一般会計

① 決算概要

審査した令和7年度川島桶川資源循環組合一般会計歳入歳出決算の概要は以下のとおりです。

当該年度の予算現額は1億9,178万7,000円です。予算現額に対する決算額は歳入総額1億8,875万1,121円（収入率98.4%）、歳出総額1億8,140万2,270円（執行率94.6%）、差引額である形式収支額が734万8,851円でした。

翌年度に繰り越す事業はなかったため、実質収支額は形式収支額と同額の734万8,851円でした。また、当組合は令和7年度に設立したことから令和6年度の実質収支額がないため、単年度収支額は実質収支額と同額になっています。

詳細は次のとおりです。

② 歳 入

(単位：円)

	予算現額	調定額	収入済額	不能欠損額	収入未済額
分担金及び負担金	137,743,000	137,743,000	137,743,000	0	0
国庫支出金	35,342,000	35,448,000	35,448,000	0	0
県支出金	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	0
諸収入	2,000	60,121	60,121	0	0
組合債	16,700,000	13,500,000	13,500,000	0	0
計	191,787,000	188,751,121	188,751,121	0	0

③ 歳 出

(単位：円)

	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
議会費	3,703,000	3,252,078	0	450,922
総務費	75,963,000	73,814,652	0	2,148,348
衛生費	111,121,000	104,335,540	0	6,785,460
予備費	1,000,000	0	0	1,000,000
計	191,787,000	181,402,270	0	10,384,730

④ 決算収支

(単位：円)

区分		金額
1	歳入総額	188,751,121
2	歳出総額	181,402,270
3	歳入歳出差引額	7,348,851
4	(1) 継続費通次繰越額	0
	(2) 繰越明許費繰越額	0
	(3) 事故繰越額	0
	計	0
5	実質収支額	7,348,851
6	実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	0

(2) 財産に関する調書

1 公有財産

(ア) 土地

該当なし

(イ) 建物

該当なし

(ウ) 無体財産権、有価証券、出資による権利

該当なし

2 物品（価格 50 万円以上のもの）

該当なし

3 債権

該当なし

4 基金

基金の現在高は、次のとおりである。

種別 \ 区分	決算年度末現在高	前年度末現在高	比較増減
財政調整基金	0 円	0 円	0 円

(3) 意見

川島桶川資源循環組合は令和7年4月1日に設立し、今回が初めての決算となります。

令和7年度の決算額は歳入総額1億8,875万1,121円、歳出総額1億8,140万2,270円で形式収支及び実質収支は734万8,851円です。

歳入について、構成市町からの負担金は事業費に応じた適切な予算計上であることを確認しました。また、施設整備に係る国庫支出金、組合債及び組合内のネットワーク整備に係る県支出金といった財源が適切に確保されていました。

歳出の議会費において、組合議会の視察研修が開催され、議員及び事務局の事業への理解を深めることに有効でした。総務費ではネットワーク構築などの業務環境整備のほか、令和6年度に整備した各種システムについて令和7年度も継続的に活用され、業務の効率化と適正な事務処理に寄与していました。

衛生費では新ごみ処理施設整備を進めるにあたり、施設整備基本計画の策定等、搬入路設計、造成基本設計、測量調査及び地質調査といった委託事業が着実に実施されました。このほか、両市町の住民等向けの視察研修会を開催するなど事業推進に資する取り組みを積極的に行っていました。

いずれも法令等に従い、適正に行われていることを確認しました。

当事業は広域での安定したごみ処理体制を構築し、最短最速での稼働を目指すものであり、更に効率的・効果的かつ適切な事業執行が求められていることから、次の点に留意して取り組まれるよう要望します。

- 1 組合の主要な財源が両市町の負担金であることから、これまで以上に効率的な事業運営を実施し、経費節減に努めると共に国庫支出金等の財源確保を確実に行うこと
- 2 事業の進捗に応じて、構成市町の住民等に適切な情報発信を行い、事業の透明性確保に努めること
- 3 予算編成にあたっては、昨今の資材価格や労務費等の高騰に伴う影響が懸念されるため、事業の精査を行って適切な予算措置に努めること